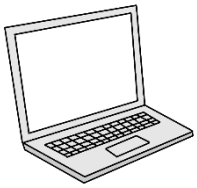


鶴尾っ子 KANGEN ステップ学習

― 鶴尾小ｅラーニング学習「マイクロステップ・スタディ」 ―

1. 目　的
   - 鶴尾っ子の学習意欲と基礎学力を確実に上げる。
   - 鶴尾っ子の学力を、ＩＣＴ（情報通信技術）活用の日常化を通して向上させる。
   - 学問に長けた故郷の偉人「観賢僧正」の名前を学習名として顕彰することで、自分たちの校区を誇りに思いながら、毎日学習を継続する鶴尾っ子を育てる。（観賢僧正顕彰事業）
   - 鶴尾っ子の学力向上の面から　特色ある学校づくりを行う。

2. マイクロステップ・スタディとは

   岡山大学大学院教育学研究科　実践データサイエンスセンターの提唱する、高精度ビッグデータを活用した新時代のｅラーニング。学習とテストのスケジュールを制御することで、特に低位層の児童・生徒の学習意欲と基礎学力を確実に上げられるとしている。

3. 実施計画

   令和４年５月～　学習開始　（１・２年生は６月～）

朝の活動時(週４日)
- 全校生で5～10分間程度のｅラーニングを行う。
- 5日分に１回程度の評価テストの実施

３週間に１回程度のフィードバックシートの受取（年７・８回）
→児童への賞賛

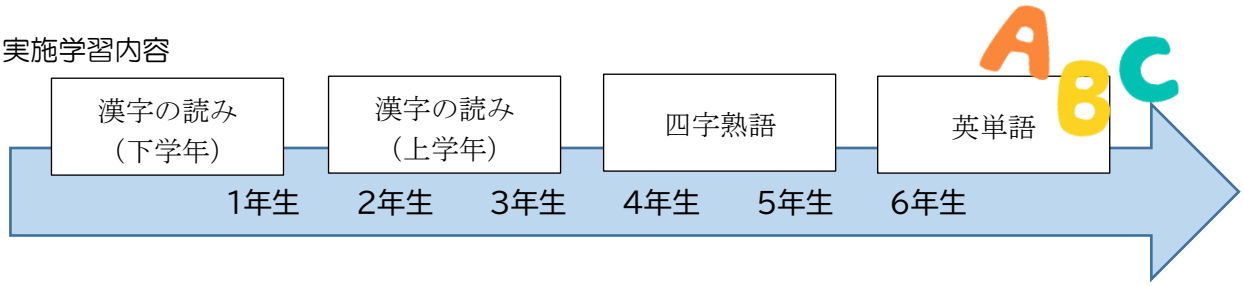
長期休業日
- タブレットを持ち帰り、各家庭でｅラーニングを行う。
- 5日分に１回程度の評価テストの実施

各家庭･センター等での追加学習
- 学力低位層児童に実施を呼びかけてｅラーニングを行う。

鶴尾っ子全員の学力向上

※　令和４年度本校が指定を受けた「GIGA 端末持ち帰り運用モデル校事業」での効果的運用

4. 実施学習内容



5. 視察・取材等

   令和４年８月　東京書籍　編集部　小学校英語教科書編集部長　岡本　知之
   　　小学校国語教科書編集部長　丸島　みか　他１名
   令和４年９月　備前市教育委員会　教育振興部　　部長　石原　史章　他３名
   令和５年２月　文部科学省総合教育政策局主任教育企画調整官（兼）教育 DX 推進室長　桐生　崇

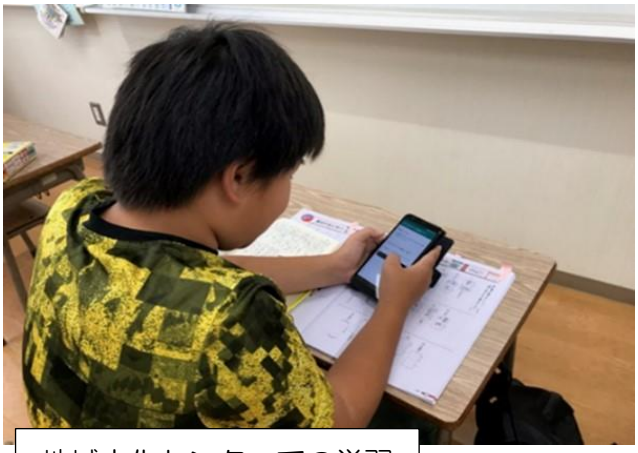
実践の様子

鶴尾っ子 KANGEN ステップ学習

学習の様子

校区文化祭での地域への周知

参観で保護者啓発



地域文化センターでの学習

地域夏祭りでの「観賢賞」表彰式

鶴尾小新聞 クレイン

Kangen ステップ学習特別号3

春休みこそ 毎日５分以上の Kangen ステップ学習

「やれば必ず力がつく、意欲も高まる」ことが、鶴尾小でも証明された Kangen ステップ学習、一般的な宿題のない春休みにこそ、毎日５分以上のステップ学習を、家庭でも応援してください。春休みに持ち帰りタブレットや携帯で学習できるのは、鶴尾っ子だけの特典です。

POINT!!

とにかく一日に１回でも、毎日続けることが効果につながります。
覚えようとしなくても、サクサク見流す程度で効果は積み重なります。

令和4年度 観賢賞 受賞児童を紹介します

これまでに４回のステップ賞を重ねてきましたが、年間を通して、とにかく学習に努力した児童２０名を、学年ごとに選出しました。

下学年漢字の部		上学年漢字の部		高学年英単語の部	
１年	小笠原　悠斗	４年	飯間　史花	５年	藤本　蓮獅
１年	森　星介	４年	磯崎　明之介	６年	宇根谷　光姫
１年	砂野　天音	４年	小笠原　綾香		
２年	菊池　凜花	４年	河野　雅哉		
２年	松本　柚馬	４年	長尾　倫逢		
２年	山本　瑠心	４年	長尾　乙樹		
３年	小前　勇心	５年	村本　快斗		
３年	飯間　輝龍	５年	飯間　虹太		
		６年	山本　泰成		
		６年	松本　瑚々奈		

年間グランプリ

第1位　４年　飯間　史花
第2位　６年　宇根谷　光姫
第3位　４年　磯崎　明之介

Kangen ステップ学習の１年間

この学習は、次の３つの目標を掲げ、地域に「鶴小観賢学習支援委員会(委員長　鶴尾師匠さん)」を立ち上げていただいて、運営してきました。

○　鶴尾っ子の基礎学力向上
○　鶴尾の偉人「観賢僧正」顕彰事業
○　ICT を活用した特色ある学校づくり

鶴尾っ子の基礎学力と学習意欲の向上に加えて、次の成果がありました。

- 観賢僧正について新聞５紙に掲載
  「かんげんさん」冊子第２版発行
- 先進的な取り組みとして視察を受ける
  東京書籍（8月）備前市教委（9月）文科省（2月）
- 全国的に広報される
  東京書籍Ｅネット『英語のひろば』
- 価値ある取り組みとして助成を受ける
  学力向上・キャリア教育総合推進事業（20 万円）
  弘済会：自主的校内研究発表　　（9万円）
  市民会議：連携人権学習支援補助　（5万円）他

◆　会計決算報告

収入	PTA から	175,000
	企業・団体からの寄附	740,000
	助成金	543,045
	計	1,458,045
支出	運営に係る経費	726,885
	冊子作成経費	125,193
	観賢賞授与経費	43,887
	指導謝礼等	32,780
	計	928,745

差引残高 529,300 円を次年度の運営経費に充てます